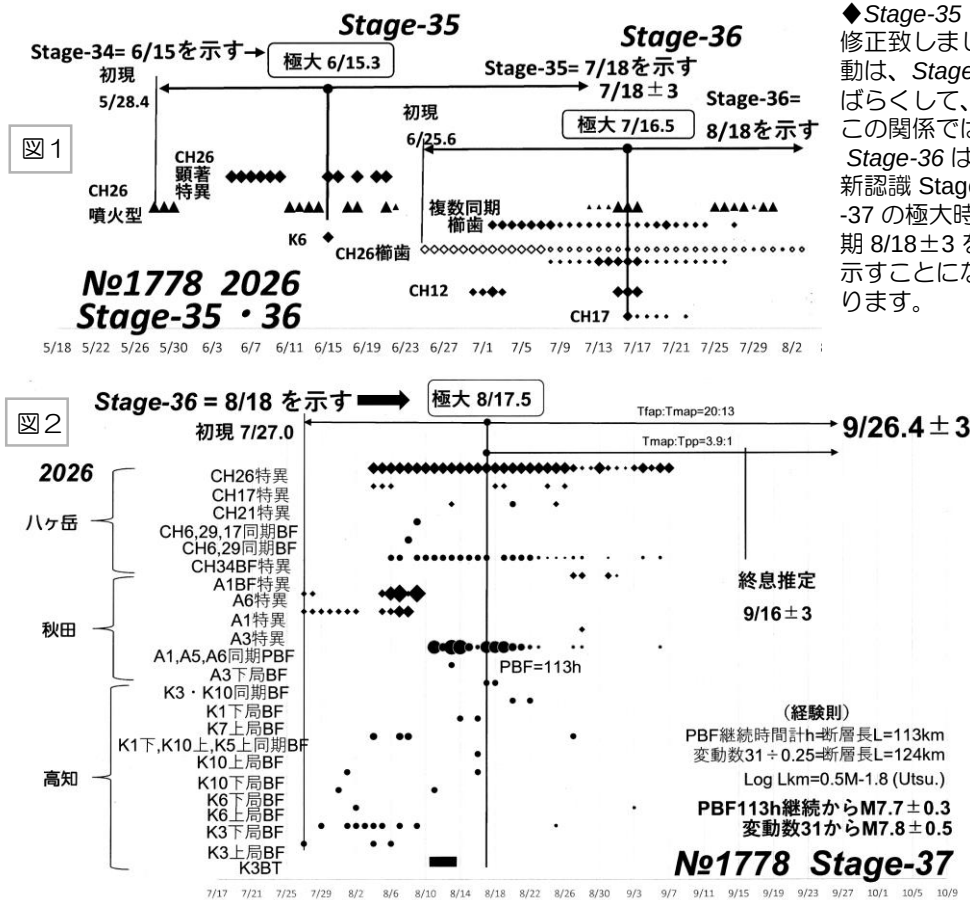


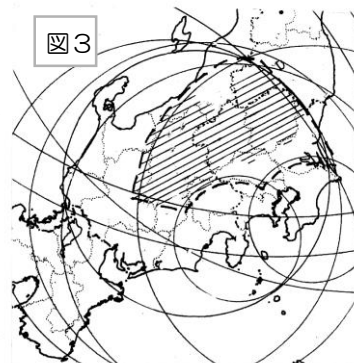
※No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」には是非ご参加下さい。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

※本内容は、E-mail・FAXで配信の観測情報では、9月6日の昼に既に配信公開しておりますが、HP更新を担当して下さっている方が出張中のため、本日9月7日の夜の更新となりました。お許しください。

No1778 Stage-35・36 修正 前号迄の Stage-38 認識変動群は Stage-37 へ修正 Stage-37 初現 7/27.0 極大 8/17.5 → 9/26±3 示す 9/16±3 迄変動継続の可能性



◆ Stage-35・36 の変動関係を図1のとおりに修正致しました。Stage-36・37 としていた変動は、Stage-36 に集約。どちらも初現からしばらくして、顕著変動が継続出現しています。この関係では Stage-36 は新認識 Stage-37 の極大時期 8/18 ± 3 を示すこととなります。



◆ 前号迄 Stage-38 としていた変動群図2は Stage-37 となります。図1に新認識で示した Stage-35・36 共に、初現から暫くして、顕著変動が継続出現しています。図2の7/27.0 からの変動を前号迄は先行変動の可能性と考えておりましたが、同様に7/27からの変動を通常の変動初現と再認識しました。

◆ この関係からは、Stage-37 が示す時期は 9/26 ± 3 となります。現在 CH 26 の変動は継続出現しておりますが新認識が正しい場合は、9/16 ± 3 時期迄、現在の変動が継続出現して、終息する可能性が示唆されます。

◆ CH26 の変動が終息する様子が見えず、Stage-37 としていた（新認識では Stage-36）が示す時期が 8/4 であることが不調和であることから、遡って関係を再認識修正した結果です。

● 推定領域：図3の点線領域内＝大枠推定領域
斜線領域＝火山近傍で可能性が考えやすい推定領域
図4の斜線領域内の可能性有 推定領域の推移についてはNo472参照

● 推定規模：PBF 平均値使用＝ **M7.8 ± 0.3** （PBF 最大値使用＝ **M8.0 ± 0.3**）
主震＋余震型が考えやすい（2016年熊本地震の様な複合地震は考えにくい）
※地震発生に伴う震源近傍火山の噴火の可能性は現状では低い。今後の観測必要
※規模推定値については、続報No471参照

● 推定時期：9/26 ± 3 の可能性有（未確定）CH26 静穏化観測後計算予定

○ 推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震
○ 推定発生時刻：午前 9 時 ± 2 時間 or 午後 6 時 ± 3 時間

※No1778前兆変動は2008年7/4から18年2ヶ月以上継続となる、31年間の観測歴上最長継続の初めて体験する極めて難解な特殊変動です。経験則を使用して解析していますが、過去例がないため「発生時期・規模・領域」のいずれも、現在の推定が正しいか否か不安な部分があることは否めません。この点はどうかお許しください。例え推定内容に近い活動が生じた場合でも、被害の少ないことを祈ります。念のため最大限の備えをお願いします。